

スーパーマーケット販売統計調査資料

2016年2月実績 速報版

1月実績 確報版

(2016年3月22日公表)

調査資料概要

【パネル 275 社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2015年4月実績よりパネル対象企業変更(285社→275社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2016年3月22日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年2月実績 速報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	81,966,347	100.0%	105.9%	104.0%
食品合計	73,608,591	89.8%	106.7%	104.6%
生鮮3部門合計	27,930,760	34.1%	105.8%	103.5%
青果	11,139,005	13.6%	105.9%	103.8%
水産	7,393,183	9.0%	104.9%	102.5%
畜産	9,398,571	11.5%	106.3%	103.9%
惣菜	8,094,235	9.9%	108.1%	105.7%
日配	15,821,531	19.3%	107.8%	105.9%
一般食品	21,762,065	26.6%	106.4%	104.9%
非食品	5,965,869	7.3%	101.5%	100.5%
その他	2,391,935	2.9%	95.8%	94.5%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,816,976	49	106.2%	104.1%
関東地方	29,279,901	70	106.1%	104.0%
中部地方	9,739,503	58	105.3%	104.1%
近畿地方	17,202,883	34	105.1%	103.3%
中国・四国地方	8,023,153	36	106.7%	104.1%
九州・沖縄地方	4,903,931	28	107.1%	106.0%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	860,552	57	101.5%	101.8%
4~10店舗	3,518,189	67	105.4%	104.3%
11~25店舗	9,442,063	64	103.8%	102.9%
26~50店舗	15,202,709	46	106.2%	103.8%
51店舗以上	52,942,834	41	106.3%	104.2%
集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	79,186,129	
総店舗数 (店舗)	7,475	店舗平均月商 (万円)	10,965	
総売場面積 (㎡)	12,743,694	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.4	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年3月22日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年1月実績 確報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	85,323,736	100.0%	104.1%	102.2%
食品合計	75,945,671	89.0%	104.8%	102.7%
生鮮3部門合計	29,408,060	34.5%	103.6%	101.4%
青果	11,210,176	13.1%	101.7%	99.6%
水産	8,154,580	9.6%	103.1%	100.8%
畜産	10,043,304	11.8%	106.1%	104.0%
惣菜	8,231,665	9.6%	105.1%	102.3%
日配	16,261,081	19.1%	105.8%	103.8%
一般食品	22,044,865	25.8%	105.4%	103.8%
非食品	6,848,359	8.0%	100.4%	99.6%
その他	2,529,751	3.0%	95.3%	94.5%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,343,525	49	104.2%	102.4%
関東地方	30,400,549	70	105.1%	102.7%
中部地方	10,004,098	58	102.7%	101.9%
近畿地方	18,170,203	34	102.0%	100.6%
中国・四国地方	8,307,931	36	106.5%	102.7%
九州・沖縄地方	5,097,429	28	104.9%	105.2%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	872,322	57	99.8%	100.6%
4~10店舗	3,514,536	67	102.9%	101.8%
11~25店舗	9,779,902	64	102.0%	101.3%
26~50店舗	15,028,200	45	104.2%	102.1%
51店舗以上	56,128,775	42	104.5%	102.4%

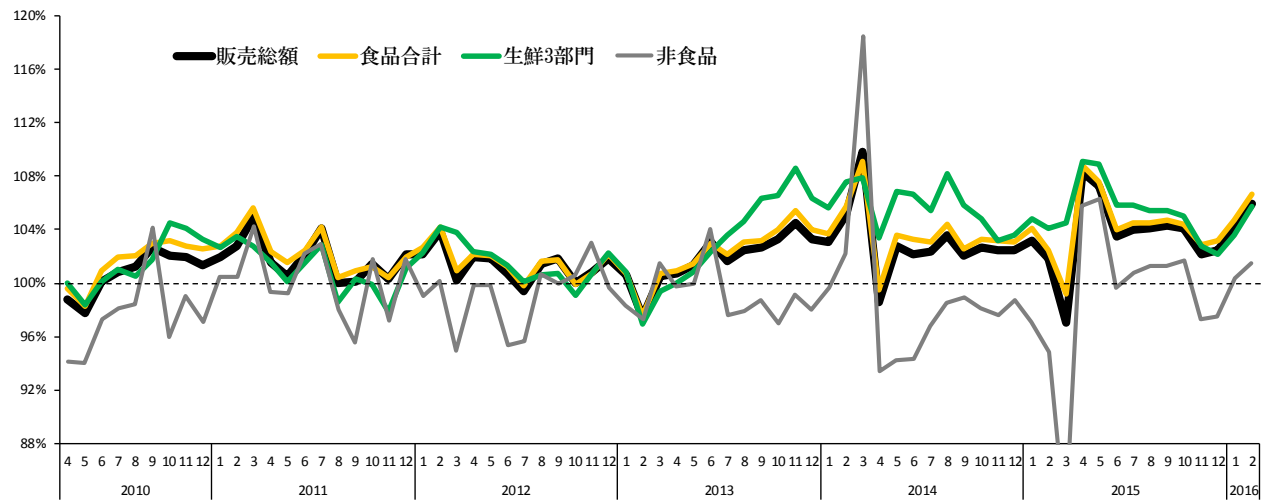
集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	82,746,878
総店舗数 (店舗)	7,472	店舗平均月商 (万円)	11,419
総売場面積 (㎡)	12,732,752	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7

※売上高は税抜金額

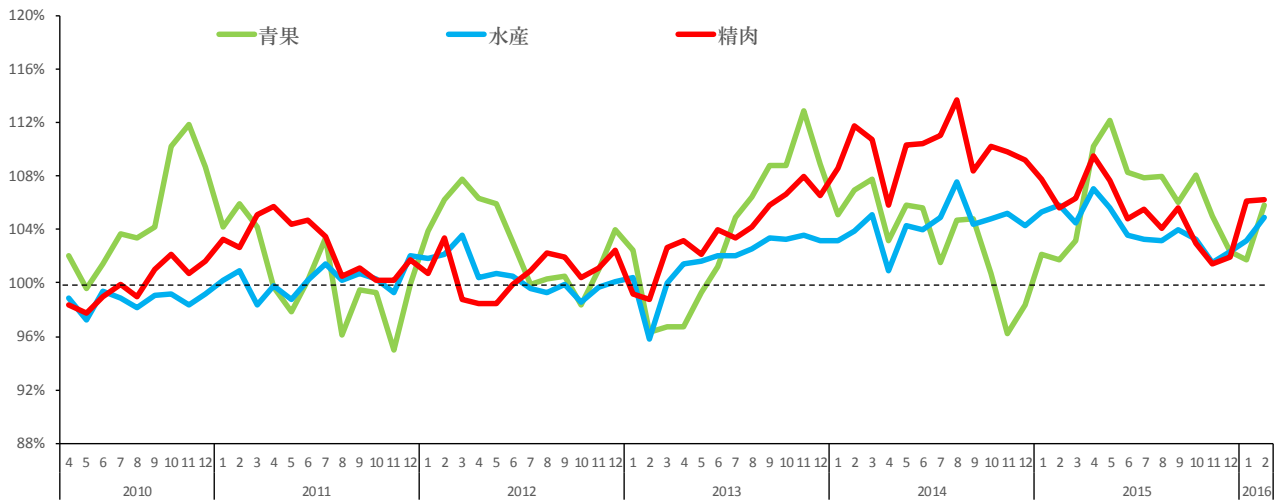
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年2月(全店ベース対前年同月比)

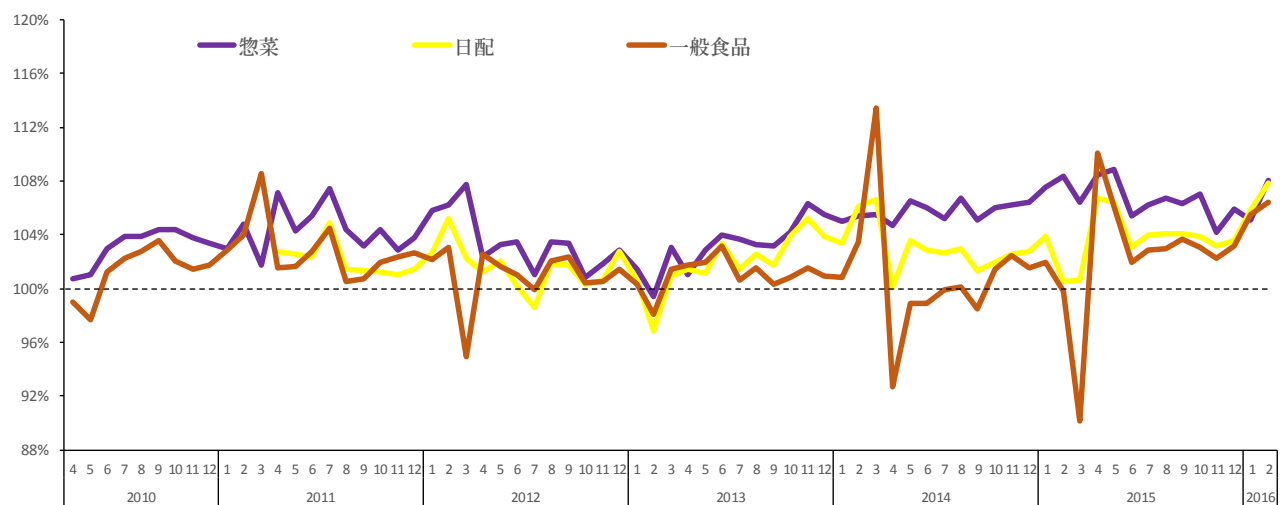
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年1月までは確認版による前年同月比、2016年2月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

2016年2月エリア別気候状況

1. 平均気温

上旬：沖縄・奄美は低く、北・東・西日本では平年並だった。

中旬：北・東日本はかなり高く、西日本は高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：北日本で低く、東・西日本と沖縄では平年並だった。

2015年2月との比較：上旬から中旬にかけてかなり高く、下旬はかなり低くなった。

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2016年2月			2015年2月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	0.5	3.0	-1.5	0.7	3.2	3.2	-0.2	-0.2	-4.7
東北地方	0.2	2.6	0.4	0.2	1.3	2.4	0.0	1.3	-2.0
関東甲信地方	0.1	2.9	1.2	-0.9	-0.1	2.4	1.0	3.0	-1.2
北陸地方	0.1	2.7	0.5	-0.3	0.2	2.7	0.4	2.5	-2.2
東海地方	0.3	2.0	0.9	-0.8	-0.1	2.5	1.1	2.1	-1.6
近畿地方	0.6	2.5	0.5	-0.3	0.0	2.5	0.9	2.5	-2.0
中国地方	0.4	2.0	-0.2	-0.4	0.3	2.0	0.8	1.7	-2.2
四国地方	0.6	1.9	-0.1	-1.1	0.2	1.5	1.7	1.7	-1.6
九州北部	-0.2	1.5	-0.8	-1.2	0.2	0.8	1.0	1.3	-1.6
九州南部・奄美地方	-0.4	1.1	-1.0	-1.8	-0.5	1.0	1.4	1.6	-2.0

平年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

前年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

2. 日照時間

上旬：北日本太平洋側と東・西日本および沖縄・奄美では多く、北日本日本海側は平年並だった。

中旬：北日本と西日本日本海側は少なく、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美は平年並、東日本日本海側は多かった。

下旬：東日本太平洋側では多く、北日本、東日本日本海側、西日本、沖縄では平年並だった。

2015年2月との比較：上旬と下旬はやや多く、中旬は少ない地域が多かった。

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年2月			2015年2月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	99	71	90	113	78	100	-14	-7	-10
東北地方	113	104	102	94	104	109	19	0	-7
関東甲信地方	108	99	113	108	119	79	0	-20	34
北陸地方	130	117	96	93	86	86	37	31	10
東海地方	114	97	121	107	124	78	7	-27	43
近畿地方	130	123	119	88	110	88	42	13	31
中国地方	127	108	97	90	105	87	37	3	10
四国地方	122	93	114	112	120	79	10	-27	35
九州北部	120	60	117	91	104	60	29	-44	57
九州南部・奄美地方	119	82	106	92	146	43	27	-64	63

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

3. 降水量

上旬：東・西日本太平洋側ではかなり少なく、北日本太平洋側と西日本日本海側は少なかった。北・東日本日本海側は平年並、沖縄では多かった。

中旬：全国的に多く、北日本日本海側と東・西日本ではかなり多かった。

下旬：北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側と西日本では少なかった。

2015年2月との比較：上旬と下旬は少ない地域が多く、中旬はかなり多くなった。

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年2月			2015年2月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	110	194	226	154	103	185	-44	91	41
東北地方	36	149	89	47	75	89	-11	74	0
関東甲信地方	16	211	24	92	47	91	-76	164	-67
北陸地方	89	166	127	92	117	63	-3	49	64
東海地方	11	277	18	66	25	108	-55	252	-90
近畿地方	27	330	21	38	51	75	-11	279	-54
中国地方	56	227	46	59	57	30	-3	170	16
四国地方	1	305	9	10	11	124	-9	294	-115
九州北部	17	242	44	37	35	120	-20	207	-76
九州南部・奄美地方	43	212	63	15	7	211	28	205	-148

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

気象庁ホームページ・報道発表資料「2月の気候」参照
平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2016年3月調査結果（2月実績）
（2016年3月22日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

3月調査（2月実績）結果概況

景気判断DIは現状判断は50台を回復、見通し判断も小幅に改善

2月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+2.8の50.9、見通し判断は前月から+1.5の46.6となり、共に前月から改善し、現状判断は50台を回復した。

経営動向調査では、うるう年で営業日が1日多い影響で来客数DI+4.3と上昇しプラス圏となり、売上高DI 6.2（前月比+3.1）、収益DI 5.7（前月比+0.8）の改善に結びついている。また、生鮮品・食品の仕入原価DIの上昇により、販売価格DIが7.8（前月比+1.9）となったことも支えになっている。

カテゴリー動向結果では、生鮮相場が高安まちまちとなったほか、気温変化が大きくなったため、消費者需要への対応に苦慮したが、うるう年の恩恵、節分などのイベントが好調となり、DIは非食品以外すべてプラスとなった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では前月に引き続き、現状判断、見通し判断共に改善し、底堅く推移している。一方で長期トレンドはやや下向きであることに変化はなく、直近では方向感のない動きとなっている。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

消費の低迷が指摘されているなかで、うるう年による追い風を受け、総じて堅調な動向を示している。以前から指摘しているが、販売価格が徐々に低下と客単価の頭打ち傾向をみせはじめるなかで、来客数の動向が今後の方向性を決める可能性があり、次月以降も動向を注視したい。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：50.9 (+2.8) 前月：48.1	消費者購買意欲DI 当月：49.9 (+0.8) 前月：49.1	周辺地域 競合状況DI 当月：44.7 (+0.8) 前月：43.9	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：47.8 (+0.8) 前月：47.0
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：46.6 (+1.5) 前月：45.1	消費者購買意欲DI 当月：47.4 (+0.5) 前月：46.9	周辺地域 競合状況DI 当月：42.2 (-0.5) 前月：42.7	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：47.2 (+0.7) 前月：46.5
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：6.2 (+3.1) 前月：3.1	客単価DI 当月：6.2 (-0.9) 前月：7.1	来客数DI 当月：1.2 (+4.3) 前月：-3.1	
収益DI 当月：5.7 (+0.8) 前月：4.9	販売価格DI 当月：7.8 (+1.9) 前月：5.9	生鮮品仕入原価DI 当月：10.4 (+3.0) 前月：7.4	食品仕入原価DI 当月：11.2 (+1.8) 前月：9.4

カテゴリー動向

青果DI 当月：7.3 (+13.5) 前月：-6.2	水産DI 当月：5.1 (+4.6) 前月：0.5	畜産DI 当月：8.1 (-2.9) 前月：12.0	
惣菜DI 当月：13.5 (+7.2) 前月：6.3	日配DI 当月：13.2 (+2.9) 前月：10.3	一般食品DI 当月：10.4 (+2.3) 前月：8.1	非食品DI 当月：-0.7 (+0.7) 前月：-1.4

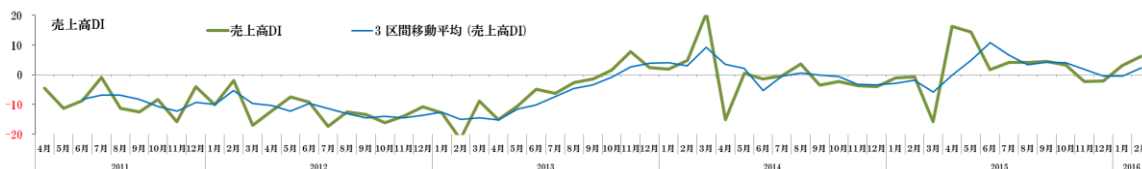
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

3月調査（2月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

2ヵ月連続でプラスを維持しやや上向き

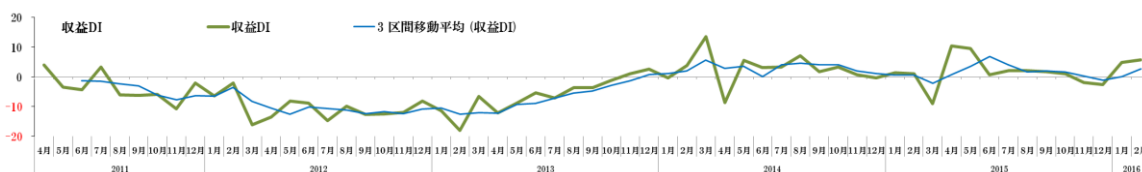
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	4.1	19.9	38.9	33.9	3.2	3.1
売上高 (当月)	3.1	18.3	34.0	39.8	4.7	6.2



2. 収益DI

2ヵ月連続でプラスを維持しやや上向き

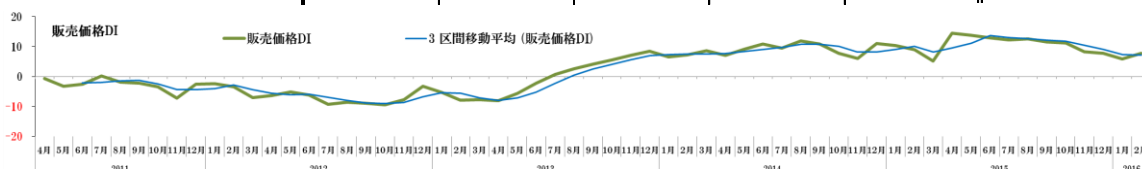
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	4.1	18.3	37.6	33.5	6.4	4.9
収益 (当月)	2.7	19.1	36.2	36.7	5.3	5.7



3. 販売価格DI

プラス圏で推移もゆるやかに下降傾向

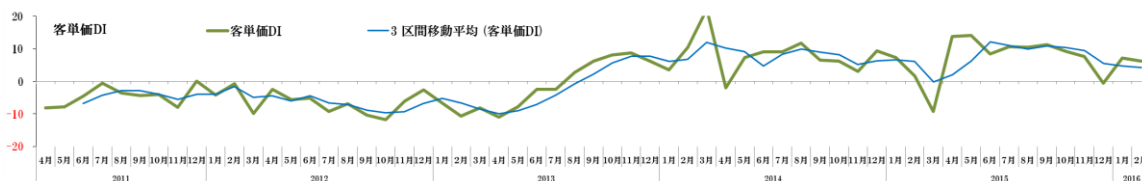
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.5	9.1	56.6	33.8	0.0	5.9
販売価格 (当月)	0.0	7.9	52.9	39.2	0.0	7.8



4. 客単価DI

プラス圏で推移もゆるやかに下降傾向

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.5	13.7	44.7	39.3	1.8	7.1
客単価 (当月)	0.0	16.8	43.2	38.4	1.6	6.2



5. 来客数 DI

プラスを回復しやや上向き

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.1	31.4	39.5	22.7	2.3	-3.1
来客数 (当月)	2.1	26.3	38.4	31.1	2.1	1.2



6. 生鮮仕入原価 DI

小幅に上昇もトレンドはやや下向き

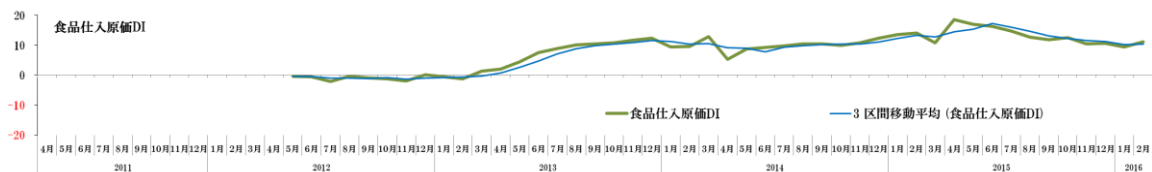
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.9	12.0	46.8	37.0	3.2	7.4
生鮮仕入原価 (当月)	0.5	7.6	44.9	43.8	3.2	10.4



7. 食品仕入原価 DI

小幅に上昇もトレンドはやや下向き

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	5.0	53.2	39.0	2.3	9.4
食品仕入原価 (当月)	0.5	3.2	50.0	43.5	2.7	11.2

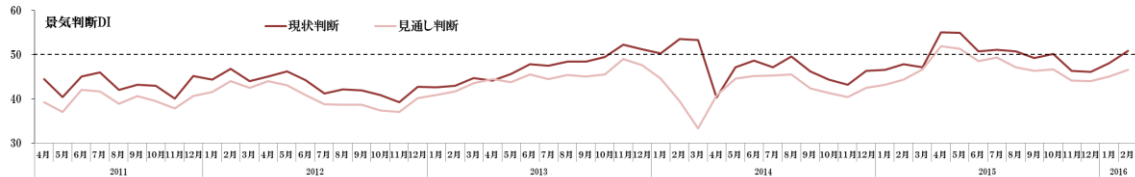


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状、見通し判断共に改善し、現状判断は50台に回復

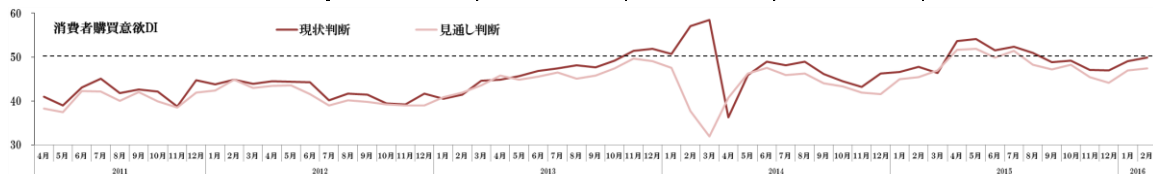
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	2.3	15.9	69.5	11.8	0.5	48.1
【現状】景況判断 (当月)	1.0	11.0	71.2	16.8	0.0	50.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	2.3	23.9	65.1	8.7	0.0	45.1
【見通し】景況判断 (当月)	2.1	19.2	68.9	9.8	0.0	46.6



2. 消費者購買意欲 DI

現状、見通し判断共にやや改善

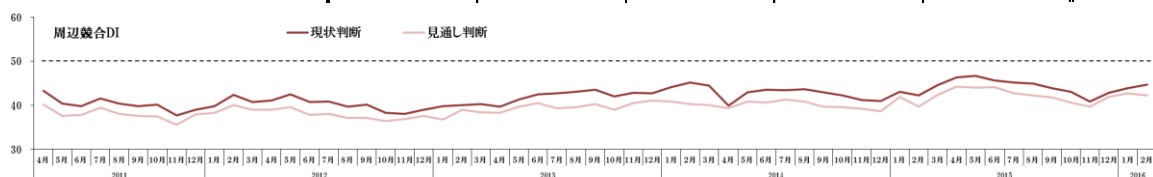
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.9	15.0	70.9	13.2	0.0	49.1
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	12.5	75.5	12.0	0.0	49.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	19.7	72.9	7.3	0.0	46.9
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	17.2	76.0	6.8	0.0	47.4



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

2ヵ月連続で改善をみせる

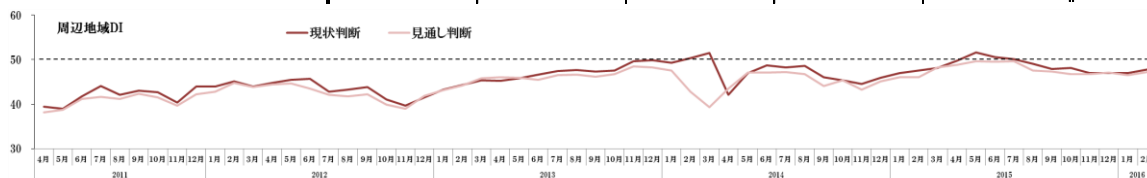
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.7	21.4	73.6	2.3	0.0	43.9
【現状】競合状況 (当月)	2.6	19.8	74.5	2.6	0.5	44.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	3.7	23.4	71.6	1.4	0.0	42.7
【見通し】競合状況 (当月)	4.7	24.9	67.9	2.1	0.5	42.2



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通し判断共にやや改善

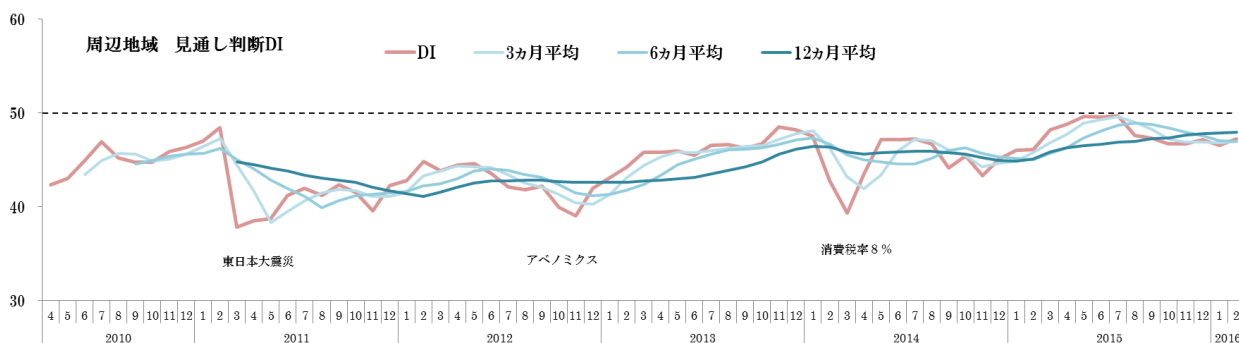
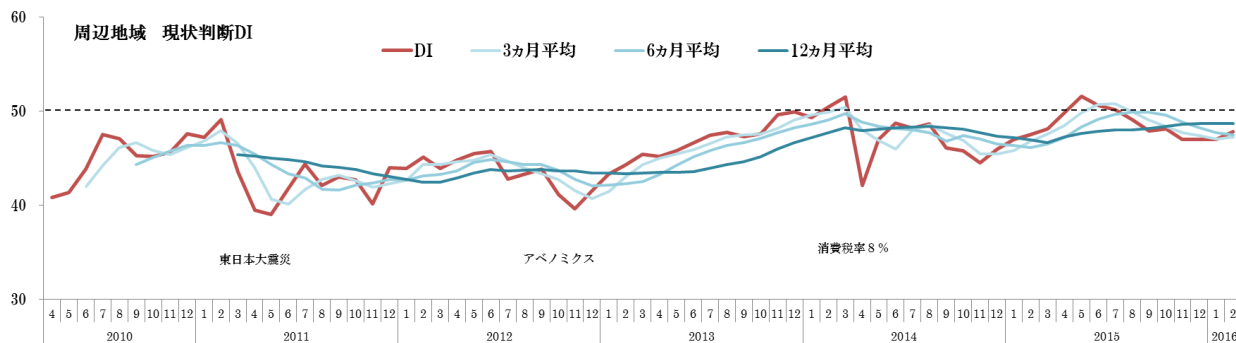
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.9	13.8	81.7	3.7	0.0	47.0
【現状】地域景気(当月)	0.0	13.5	81.8	4.7	0.0	47.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	17.6	78.7	3.7	0.0	46.5
【見通し】地域景気(当月)	0.0	15.5	80.3	4.1	0.0	47.2



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。その後5月に持ち直すものの、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月では再び下落となった。消費税率引き上げ後、3ヵ月周期でトレンドが変化し、方向感の見えにくい状況であったが、12月以降は6ヵ月連続の改善となり、2015年5月には調査開始以降で最高水準にまで上昇をみせた。その後6月以降は一転して下落が続いている。直近11月は下落の速度がやや早まったが、12月以降は方向感の見えない動向が続いている。

引き続き12ヵ月平均線のみがわずかにプラスを維持しているものの、他の平均線はマイナス推移に転換し、12ヵ月平均線の下方に位置しており、弱含みな状況に変化がない。

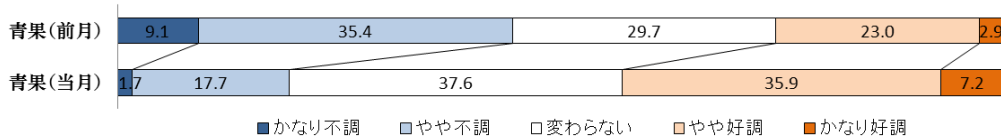


Ⅲ. カテゴリー別動向

カテゴリー別DIによる好不調判断

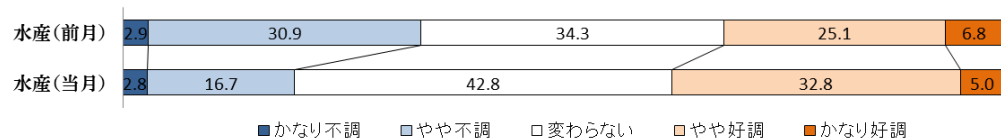
かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

1. 青果DI：7.3（やや好調）



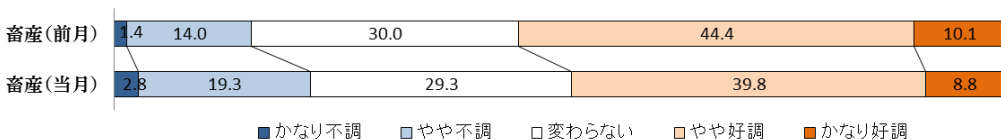
1月の相場安から品目ごとに高安まちまちの相場となり、販売に苦心した店舗が多くなった。大型野菜は比較的豊作で価格は安定しているが、九州地方の雪影響があった土物類を中心に相場高や品薄となった。野菜ではサラダ用食材が好調、果物では価格が高騰しているいちごや柑橘類を不振にあげるコメントが多くみられた。

2. 水産DI：5.1（やや好調）



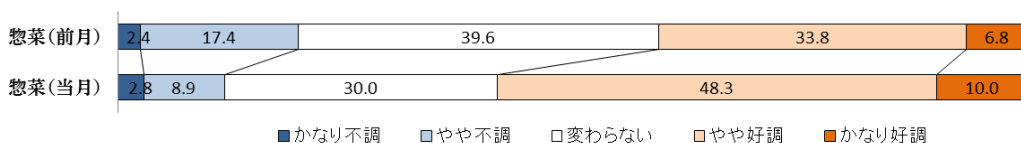
鮮魚は不安定な仕入状況が続いているが、気温の上昇とともに刺身類や寿司関連が好調とコメントが多くみられた。鍋関連食材の好不調により、水産カテゴリーでも好不調がわかる状況となっている。

3. 畜産DI：8.1（やや好調）



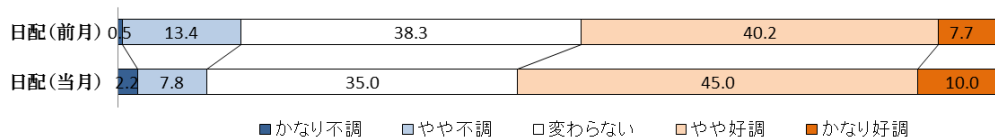
国産牛肉は相場高が続く苦戦傾向にあるが、比較的相場の安定している豚肉を中心に輸入牛、鶏肉が好調となっている。加工肉は回復傾向と不振とするコメントがわかる状況となっている。気温の変化により消費者ニーズが大きく変化する月となった。

4. 惣菜DI：13.5（好調）



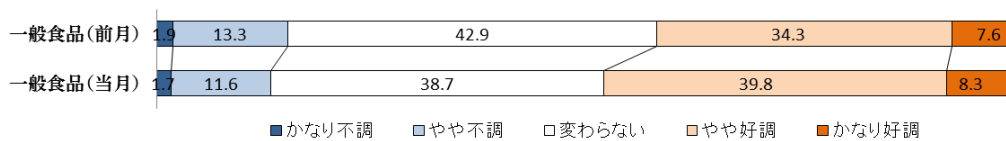
節分恵方巻きについては好調とするコメントが多く、受験生応援企画や季節商材を使った商品などの取り組みが好評との指摘が多くみられた。

5. 日配DI：13.2（好調）



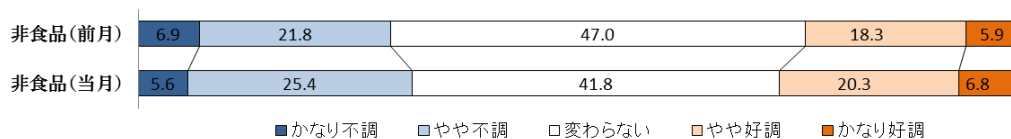
気温が高い上旬と中旬は和日配が不振も、下旬以降気温が低下するとやや回復をみせた。インフルエンザや花粉症対策として機能性ヨーグルトやアイスクリームを中心とした洋日配が好調であるとのコメントが多くみられた。

6. 一般食品：10.4（好調）



前半は気温が高く、鍋つゆやカップ麺などホット商材が伸び悩む一方で、飲料が好調となった。菓子類は好調とのコメントが多くなったが、米類については好不調まちまちとなった。

7. 非食品DI：-0.7（やや不調）



気温の変化により、冬物商材の動向に影響があったほか、ドラッグストアなどとの価格競合により、苦戦したとのコメントが多かった。

2016年3月調査（2月実績）キーワードTOP3

1. うるう年
2. 気温の変化が大きい
3. 生鮮相場 高安まちまち

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

- 2月実績速報版 191社
- 1月実績確報版 222社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp